

2020年10月14日(水)

HTB ノンフィクション「おっぱい2つとってみた～46歳両側乳がん～」

JAPAN PRIZE 2020 「グランプリ日本賞」ファイナリストに選出

HTB 北海道テレビが2020年5月9日に制作・放送したHTB ノンフィクション「おっぱい2つとってみた～46歳両側乳がん～」が、教育コンテンツの国際コンクール「JAPAN PRIZE 2020」*でグランプリ日本賞のファイナリストに選出されました。

「JAPAN PRIZE」は日本放送協会（NHK）が主催する教育コンテンツを対象にした国際番組コンクールで、1965年の創設以来、教育の可能性を広げる優れた作品を顕彰しています。今年は、世界54の国と地域から288の応募作品があり、幼児向け部門、児童向け部門、青少年向け部門、一般向け部門、デジタルメディア部門、企画部門（同部門には日本作品は応募できない）の6部門から最高賞のグランプリ日本賞を始め、特別賞（国際交流基金理事長賞、ユニセフ賞）など10の賞が贈られます。

HTB ノンフィクション「おっぱい2つとってみた～46歳両側乳がん～」(英語版タイトル「Boobies behind, Journey ahead」)は、一般向け部門の10カ国11作品のファイナリストに選出されました。本審査は10月26日(月)～同月30日(金)に世界各国の審査員12名がウェブ上で審査を行い、授賞式は11月5日(木)に新型コロナウイルス感染症対策のためオンラインで開催されます。

同番組は、HTB 報道部のニュースデスクを担当する阿久津友紀ディレクターが同時両側性乳がん罹患、「誰かの役に立てるかもしれない」との思いから患者としての自らにカメラを向け、がんの告知の瞬間や治療方法を巡る迷いや苦悩を描いたドキュメンタリーです。手術室にもカメラを入れ、術後のリハビリやその後の思いも丹念に映像に記録しました。ナレーションも自ら務め、放送後大きな反響をいただきました。今回のノミネートについて阿久津ディレクターは、「YouTubeなどを通して世界中から声が届いています。がん患者が生きやすい世の中になることを願い、これからもピンクのリボンの端と端を結んでいきたいと思います」とコメントしています。

同番組は2020年日本民間放送連盟賞番組部門テレビ報道番組優秀賞を受賞。テレビ部門全体のグランプリ・準グランプリの候補となっていて、11月10日にオンラインで開催される表彰式で結果が発表されます。

*JAPAN PRIZE 2020 日本賞公式サイト

<https://www.nhk.or.jp/jp-prize/>

このリリースに関するお問い合わせ

HTB 編成局編成部 山崎

011-205-7666

メール：yuyamazaki@htb.co.jp